

## 第 76 回 火力専門委員会 溶接分科会 議事録

- I. 日 時：2017 年 9 月 11 日（月） 13 時 30 分～18 時 00 分
- II. 場 所：東京大学工学部 3 号館 424 会議室
- III. 出席者：青山(東大)、樺田(MHPS)、倉富(東電 FP)、幅野(IHI)、長谷川（発電技検）、  
原田（東芝）、水谷（東工大）、逢澤(MHPS 日立)、飯島（日溶協）、  
大橋（中電）、  
欠 席：山下（神鋼）、飯田（東電 FP）、  
代理出席： なし  
オブザーバー：堀（関西電）、吉村（MHPS 長崎）  
事務局： 原

### IV. 配付資料

- 76-1 第 75 回溶接分科会議事録（案）
- 76-2 溶接分科会委員名簿
- 76-3 第 81 回火力専門委員会報告
- 76-4 第 83 回発電設備規格委員会議事次第
- 76-5 発電用設備規格委員会書面投票 No.373（高クロム鋼関係）結果報告
- 76-6 欠番
- 76-7 -1 レビュー票（ダブルチェック結果反映、I H I）
- 76-7 -2 レビュー票（ダブルチェック結果反映、発電技検）
- 76-7 -3 レビュー票（ダブルチェック結果反映、東芝）
- 76-7 -4 規格原稿（補遺、MHPS）
- 76-8 -1 新旧対比表（発電技検）
- 76-8 -2 新旧対比表（関西電力）
- 76-8 -3 新旧対比表（関西電力）
- 76-8 -4 新旧対比表（日本溶接協会）
- 76-8 -5 新旧対比表（中部電力）
- 76-8 -6 新旧対比表（東電 F P）
- 76-8 -7 新旧対比表（MHPS）
- 76-9 審議履歴表
- 76-10 規格策定の手引き（DRAFT 2017.7.27）

### V. 議事

1. 前回議事録確認 [資料 76-1]  
前回議事録（案）について確認を行い、議事録(案)が承認された。
2. 分科会委員・役員の承認 [資料 76-2]  
辻委員の退任が報告された。新任委員候補として、堀氏（関西電力）、再任委員候補と

して飯田委員が、出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会へ推薦することが承認された。

### 3. 報告事項

#### (1)火力専門委員会報告

[資料 76-3]

8月28日開催の第81回火力専門委員会の主要項目が報告された。

- 火力専門委員会委員、各分科会委員の承認
- 第75回溶接分科会(6/23)報告
  - ・発電用火力設備規格201X年版レビュー票の審議状況
  - ・今後の作業の進め方の確認について
- 審議結果報告
  - ・高クロム鋼の強度見直しに係る追補・事例規格案の規格委員会書面投票の意見対応による修正、パブコメの実施、JESCへの省令適合性の審議依頼について
  - ・次期火力専門委員会委員長の選任手続き

#### (2)規格委員会報告

[資料 76-4]

9月7日開催の第83回発電用設備規格委員会の主要項目が報告された。

- ・火力専門委員会(8/28開催)報告
- ・高クロム鋼の強度見直しに係る追補・事例規格案の規格委員会書面投票の意見対応による修正について

#### (3)発電用設備委員会書面投票 No.373 の結果報告

[資料 76-5]

規格書面投票 No.373「高クロム鋼のクリープ強度見直しに係る追補・事例規格発行の提案」の提案結果の報告があった。いずれも可決、意見対応による修正案も、火力専門委員会、規格委員会で可決となった。

### 4. 審議事項

#### (1)用語集の確認

新たな追記・変更箇所はなし。

#### (2)レビュー票ダブルチェック結果反映

##### 1) 第Ⅶ章 QW

[資料 76-7-1]

幅野委員から、資料に基づき前回のコメントを反映したレビュー票について説明があり、審議を行った。

##### ○QW-302.2

- ・コメント反映箇所は、OK。
- ・手溶接士… → 手溶接士に対してはQW-304、及び溶接オペレーターに対してはQW-305で…

##### 2) 第Ⅵ章 アーティクル 1

長谷川委員から、前回以降の変更箇所について説明があり、審議を行った。

○Z2305の年版変更(2001年から2013年)に関連して、2013年度版では磁粉探傷が磁気探傷に変更になっているので、本件について注意書きで読み替えるなどの対応を検討する。また、構造分科会と情報を共有する。

○ASME規格を指定する場合の年版の指定については、T120の(b)を使って説明することを検討。

3) 第Ⅵ章 アーティクル 2,9

原田委員が、資料に基づき説明し審議を行った。

○図 C-210-3、図 C-210-4 の(b)のタイトル  
溶接裏面 → 裏当金なし

4) 第Ⅵ章、Ⅶ章 補遺

樫田副主査から、第Ⅵ章とⅦ章の補遺の原稿(初版)について説明があり、審議を行った。

○補遺は、規格本文には記載しないが、規格を使用する上でサポートとなる情報(考え方や大きな改訂点、ASME との相違点など)する位置付けと考えており、各委員に確認していただき、各委員の担当箇所を追加した方が良い項目があれば、三役に連絡することとした。

(3)新旧対比表(共通的な事項は、下線を引いた。)

1) 第Ⅵ章 アーティクル 1

[資料 76-8-1]

長谷川委員が資料に基づき新旧対比表を説明し、審議を行った。

2) 第Ⅶ章 アーティクル I、APPENDIX I

[資料 76-8-2,3]

堀委員が資料に基づき新旧対比表を説明し、審議を行った。

○変更が無い箇所についても分かりやすいよう、改訂の前後とも全文を記載することとする。

○改訂内容の記載場所は、可能な限り変更している箇所の横に記載するようにする。

○ASME の SI 値を採用した箇所については、改訂内容は「ASME の SI 値に統一」に統一する。

3) 第Ⅵ章 アーティクル 7

[資料 76-8-4]

飯島委員が資料に基づき新旧対比表を説明し、審議を行った。

○図 T-764.2(b)(2)において、寸法の数値の桁数が多い件については、何らかの対応を考える。

4) 第Ⅵ章 アーティクル 6

[資料 76-8-5]

大橋委員が資料に基づき新旧対比表を説明し、審議を行った。

○改訂前についても、変更箇所には下線を引き赤字とする。

○T-676.2 非破壊検査のテキストでの用語との整合性を確認する。

5) 第Ⅶ章 アーティクルⅣ

[資料 76-8-6]

倉富委員が資料に基づき新旧対比表を説明し、審議を行った。

- 新規追加項目について、それが分かるよう改訂前の欄に（規定なし）などを記載する。
- 変更箇所は下線だけでなく、赤字とする。
- 規格記載欄の一行当たり全角 41 文字は、標準例を示しただけなので、適宜変更が可能。

6) 第Ⅶ章 アーティクルⅡ

[資料 76-8-7]

樺田委員が資料に基づき新旧対比表を説明し、審議を行った。

- 変更箇所は、見え消しとしない。
- 表現の見直しについては、①ASME の修正か、独自の見直しか②誤記の修正か、分かり易くするための修正か、③技術的なものかどうかなどの観点が変わるよう、樺田副主査がパターン化して各委員に連絡する。

(4) 作業の進捗状況の確認と今後の進め方

- 樺田副主査が、審議履歴表によりダブルチェック結果の反映などについて進捗の確認を行った。確認結果は審議履歴表に反映。
- 11 月 29 日（水）に開催予定の火力専門委員会に改訂の提案ができるよう、次回の分科会（11/14）までに本日確認した以外の新旧対比表と本日確認した修正点を反映した対比表を準備することとした。

(5) 規格策定の手引き

事務局が、規格委員会幹事会が策定作業中の「規格策定の手引き（DRAFT）」の概要を説明した。本手引き案については、9 月 7 日の規格委員会において各専門委員会、分科会から意見をいただきたいとの依頼があった。ご意見・要望等があれば、次回の分科会までを目途に、事務局までメールにて連絡していただくこととした。

Ⅵ. 次回開催予定

- ・ 日時：2017 年 11 月 14 日（水） 13 時 30 分～
- ・ 場所：東京大学 工学部（本郷） 会議室は別途連絡。

以 上